

2024年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『ノーマライゼーション先進国』スウェーデンの障害者福祉とは一

研修のテーマ・企画ポイント

『福祉先進国』として名高いスウェーデンの障害者福祉は実際どのように機能しているのでしょうか。ノーマライゼーションの考え方が社会に浸透し、「自己決定」と「自立支援」に重きを置くという、この国ならではの概念に基づいたケア方法、アプローチの仕方、そして福祉サービスについて、分かりやすく解説します。

- 1 過去リアル版の海外研修・調査に同行し、大変好評を得ているコーディネーター兼通訳の**エミル・オストベリ氏**がご案内します。
- 2 施設見学の回では、重度の自閉症の方のためのデイアクティビティセンターで取り入れている様々なケア方法について具体的にご紹介します。
- 3 実際の視察しながら施設の雰囲気を感じられるよう、訪問者目線のビデオで施設内の様子をご覧ください。
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場で働くスタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

エミル・オストベリ氏



オンライン研修の
経験も豊富！

スウェーデンを訪れる日本の視察団の通訳・講義を行う他、年に数回日本を訪れ、スウェーデン大使館・大学・病院などで自らの流暢な日本語を駆使し、スウェーデンにおける高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉についての講演活動を行っている。



【見学施設一例】

Sjöängen <ホーエンゲン>



重度の自閉症の方のためのデイアクティビティセンター。TEACCH プログラムを採用している。

スヌーズレンルーム(白の部屋)

※見学施設名の確定は2週間前頃となります。

健康生成論

重度の障害があったとしても、一個人として精神面の健康を得るために生活における様々な活動の目的を理解し、自身で判断できるように促すこと

低刺激対応

自閉症や認知症の患者が興奮しないよう、落ち着いた働き方を実践

1日目：エミル氏講義

日時：2024年10月2日(水)
日本時間 16:00~18:00

テーマ スウェーデン障害児・者福祉の現状

- スウェーデン障害児・者福祉の概要とその発展の歴史について説明
- ケアが必要な障害児・者へのサポートについて
 - ・ハビリテーションセンター・補助器具
 - ・ハウスアダプテーション・教育システム
 - ・グループホーム、サービス住宅、デイアクティビティセンター
 - ・パーソナルアシスタントサービス
- 2日目の障害者施設概要説明(事前に録画したビデオをご覧ください)
- 質疑応答

2日目：障害者施設見学

日時：2024年10月9日(水) / 10月10日(木)
日本時間 16:00~18:30

※2グループに分けて実施する予定です。
日程については決定通知でご確認ください。
※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

テーマ デイアクティビティセンターにおける 重度心身障害児・者への支援について

- 施設で実践している様々なケアについて
スヌーズレン/健康生成論/低刺激対応
アクティビティ/自立支援 など
(施設職員がご説明します)
- 質疑応答

オンライン会議システム「Zoom」を使用します

